



『AKAGOテキスト版』の販売について

2017.7 子育ての文化研究所

子育て とりわけ乳幼児の子育ては「何となく出来るもの」ではなく、「実体験があるからこそ、当たり前のように出来る」ことです。

子育ての文化研究所では、そのことを深く掘り下げた結果、「経験がないのなら、経験に代わるような支援をしていくことが喫緊の課題」と位置付け、核家族、孤育てをしている親たちにむけて、子育て支援者が何をすべきか、何が出来るかを考えました。そこで、

- ・子育ての支援者は“お母さんのお母さん”となる存在を目指そう
- ・そのためには、十分な知識を持った支援者になることが必要

と考え、今まで伝えられてきた子育ての文化が消えかかっている今、それを伝える役割を担おうと考え、支援者が知識を得る手段として「15のまなび」講座を65回開催した他、多くの学びの機会を提供して来ました。しかし、子育ては多岐分野にわたるため、お母さんに向けて知識を提供することは難しく、また、親にむけての講座テキストにしたい簡単な本もありませんでしたので、必要とするものを自分達で創るべきとおもいで『AKAGOテキスト版①』を、このたび発行しました。是非、ご活用ください。

『AKAGOテキスト版』の定価は1冊300円ですが、支援団体様には、ご購入数に応じ、割引価格で納品させていただきます。まとめてご購入頂いた場合の価格を表示しております。

テキストの販売価格は、必ず 300円 をお願いいたします。

300円売か、無料配布かのどちらかにしてください。

【テキスト納品価格】

1冊～49冊	1冊あたり300円（当分の間、送料無料でお送り致します）
50冊～99冊	1冊あたり200円（当分の間、送料無料でお送り致します）
100冊以上	1冊あたり150円（当分の間、送料無料でお送り致します）

【申込先】申込みが残る形がありがたいので、出来れば 団体のメール宛お送りください。

Mail info★kosodate-bunka.jp（★印を@マークに変えてお送りください）

メールがご都合の悪い場合のみ、郵送でお申込み下さい。

団体事務所：京都府宇治市広野町寺山45-5（迫方）

連絡先・お問合せ先：090-2703-5207（さこ携帯）090-9702-6146（しゅ携帯）

【ご注意】発送事務員はいませんので恐れ入りますが、使用の10日前迄にはお申込み下さい。

お支払いは納品の際の請求書をご覧の上、ゆうちょ銀行口座へお振込み下さい。

わたしたちは、『AKAGOテキスト版』が日本中に広がってほしいと願っております。

その際、親子にとって身近な存在である皆様方が、内容を丁寧に、そして、何より、ご自分の経験なども交えながらお伝えくださることを、心から願っております。

ご要望のある場合は、『AKAGOテキスト版』の使い方講座につきましては、直接、スタッフ向けにご希望の内容（概要・だっことおんぶ・語り掛けについて・おもちゃなど）での研修を出張で実施致します（有料）。親子向けの講座との組み合わせもお受けいたします。関心のある方は、ご一報いただけますよう、お願い申し上げます。

以上

AKAGOテキスト版 使用の手引

2017.7. 子育ての文化研究所

AKAGOテキスト版①の発行に際し、ご活用頂くための手引を作成しました。参考にして頂ければ幸いです。

- ① 実際にワークの項目は必ずやってみて下さい。スタッフ全員でやってみると、見えてくるものが各自違うことが分かるはずです。テンポ・考え方・感じ方の違いなどが見えてきます。

→何でも、出し合うことが大事。

この事から、実際に講習などで使用した際の予想も出来、きめ細やかな配慮が出来ます。

- ② 1冊を1回とか2回で伝えようと思わず、必要なページを使用し、1回の講座の範囲を少なくして内容を濃くし分けて実施して頂ければと願っています。(実施しやすいページだけでも可) 連続講座である必要はなく、順序も問いません。有料講座の場合も、出来れば単発参加OKにして頂き、興味のある内容だけでも参加できるようにご配慮頂ければと思います。

終了時・・・「一度、御自分で読んでみて下さい。疑問点があれば一緒に考えましょう。出来ればワークをして感じたことなどの話を聞かせてくださいね。」という、コミュニケーションツールにもなります。皆が読める本棚に、1冊、見本として置いて頂くのも良いかもしれませんね。

- ③ このテキストは、前半は基礎的なことが書かれています。ページ数も少ないので、補足が必要な部分が多いです。「ふうん、そうなのか・・・」程度でも良いと思います。見ながら、参加の皆さんでおしゃべりする契機にするもよし、体験を伝えあう場にするもよし・・・。

今は、育児書を読むということが少なくなりましたので、発達の道筋を確認する機会も少なくなっています。そういうこともあり、本当は伝えたかったのですが、いろんな方が、いろんな読まれ方をすることを想定し、断言は避けています。知りたいと思えば、いくらでも検索できる時代なので、「扉」の役目でとどめているのが本誌の立場です。

- ④ テキスト後半は、だっこやおんぶは実技が多いのですが、事前に実際に何度も行い、慣れてから実施するようにしてください。スタッフ同志で互いに確認し合うと、実技も見えてくるものがあります。

どのページについても同様ですが、実施する時は字面を追わずに、その日のおさらいに参加者が読み直してみる・・・その位の位置付けで結構です。支援者が御自身の言葉で、おもいをいっぱい膨らませてお話下さることを望んでいます。

このAKAGOテキスト版は、支援者が語るための地ならしの役割で良いと思っています。

- ⑤ テキスト版は、お一人で読んで頂くことも想定して、作成しています。

講座に参加されない方にも販売して下さい(定価 300 円をお願いします)。

講座への参加がベストでしょうが、お一人で読まれるのも良いと思います。ご対応よろしく願い致します。

- ⑥ 一つひとつの内容について、お伝えすると膨大な説明をお読み頂くこととなりますので、解説書は作製していません。参考になる文献としましては、過去の「15のまなび」講座の講演記録が参考になると思われますので、宜しければ、団体のHPをご覧ください。ご不明な点がございましたらメールでお問合せ下さい。御一緒に考えて行きたいと思っております。

以上